

新年度のご挨拶

理事長 助川 英治

２０２１年度はワクチン接種の普及もあってか１０月以降になって新型コロナウイルス感染者数は急速に減少し、感染は収まったと思いましたが、オミクロン株の登場により再び警戒を要する状況となり依然として先が読めない状況が続いております。３回目のワクチン接種の拡がりに伴い、近いうちに落ち着いてくれることを期待しております。皆様におかれましても大変なご苦労、ご不自由が続いているかと思いますが、お互い協力しあってwithコロナの時を乗り越えて行きたいと思っております。

NPOクラブの活動においてもコロナ禍の影響は大きく、中小企業支援活動の中心である販路開拓支援活動や展示商談会支援活動におけるマッチングはリアル面談よりWEB利用のオンライン面談が主体となりました。効率的になった面もありますが、直接だから感じられる生対面の良さが味わえないのは寂しい限りです。

２０２１年度の受託件数、事業収益は昨年度とほぼ同じ予算規模でスタートしましたが、途中での増減はあったものの結果的にほぼ予定通りの実績を挙げる事が出来ました。皆様方のご協力によるものと深く感謝申し上げます。

２０２１年度は、２０２１～２３年度中期活動方針の初年度にあたり、３つの基本方針 A. 中小企業経営支援活動 B. 社会貢献活動 C. 組織運営体制強化活動について３２項目の重点課題を設けて各々の目標達成に向けて活動して参りました。

その中で、最初に行ったのは１０年ぶりのNPOクラブ運営組織の見直しです。NPOクラブの特徴は会員の人脈等を活かした中小企業の販路開拓支援が中心ですが、昨今の多様なニーズや技術革新に対応できる組織づくりも重要な課題です。そのために、会員が活動しやすい産業別グループ組織の再編（５グループ→７グループ）、最新情報を取り入れて支援活動に繋げるための研究会・タスクチームの充実（６→１３）、次世代育成支援グループの明確化などを行いました。新組織の詳細については、NPOクラブホームページの「NPOクラブとは-組織運営」の組織図をご参照ください。

重点課題については、理事を中心とした各チームリーダーから課題達成に向けての活動状況を適宜報告し、会員との意見交換を通して活動の共有化を図っています。多角的経営支援活動の一つとして設定した新技術事業化支援については、支援対象企業を選定し、NPOクラブ独自の特別支援制度の枠を活用した支援活動を実施中でありまます。また、特定支援会員、一般支援契約企業への取組み強化については、販路開拓支援の他に、総合的な経営支援の観点から経営相談等を積極的に行うと共に事業戦略の戦略策定支援、WEBセミナーの開催などの支援を行っています。環境分野への取組みでは、環境事業支援研究会を発足させ、今後の社会的・技術的なニーズへの対応についての検討を開始しました。ものづくり改善支援、デジタル技術の活用支援、自

然大災害復興支援活動、組織の活性化、NPO法人としての課題である寄付金募集活動推進なども重点課題として着実に活動実績を積み重ねているところですので近いうちにその成果をご紹介できるものと期待しております。しかし、社会貢献活動の一つである講演会活動を中心とする次世代育成支援活動は、去年はコロナ禍の影響もあり、中学校での講演、大学とのコラボ、サイエンスアゴラへの参加など限られた活動に留まっていたので時期を見て当NPOクラブならではの展開を図っていきたいと思っております。

2022年度も中期活動方針に基づき中小企業の販路開拓支援活動を中心に、さらに支援活動内容を充実すべく重点課題の達成に向けた活動を継続して参ります。働く集団であるNPO組織に加えて楽しく集えるNPO組織を目指して行きますので皆様方にはご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

また、今年はNPOクラブの創立20周年にあたり、10月5日の記念事業開催に向けての準備を進めておりますので、皆様方には併せてご支援、ご協力の程お願い申し上げます。